

書房による企画と刊行の流れを歴史的に俯瞰した概説。

『筑摩書房図書総目録：1940-1990』索引巻と2冊組 筑摩書房 1991年2月8日 pp. 201-291 (本冊). 20年前の『筑摩書房の三十年』巻末の「総目録」より遙かに充実して、各巻の収録作品の他、月報の有無、配本順・編成の変更などについての情報を得られる。

和田芳恵 『筑摩書房の三十年』筑摩書房 1970年12月25日 非売品. 2011年3月15日にも筑摩叢書として再刊されている。

〈訂正〉

「月報を読む：序論」(本誌第50巻4号所載)

付記：本篇でのみ①～⑳は言及した20種の月報を識別するための番号である。

したがって、次篇以降におけるように月報の㊦を指してはいない。

P. 3 (1159), 10行目：需要 → 受容

P. 32 (1188), 13行目：今日に → 2016年11-12月号まで

P. 45 (1201), 13行目：2頁の → 2頁前後の

P. 59 (1215), 下から5行目：古書新聞社 → 図書新聞社

「月報細目 - 1」

P. 4 (514), 下から5行目：与謝野 → 輿謝野

P. 12 (522), 13行目：【143全18】 → 【143全19】

P. 15 (525), 14行目：霜田 → 霜^{しもた}多

P. 18 (528), 18行目：戸田 → 戸川

P. 32 (542), 下から4行目：㊦ → ㊦[61]

——本稿(3)は2019年12月10日に脱稿した——